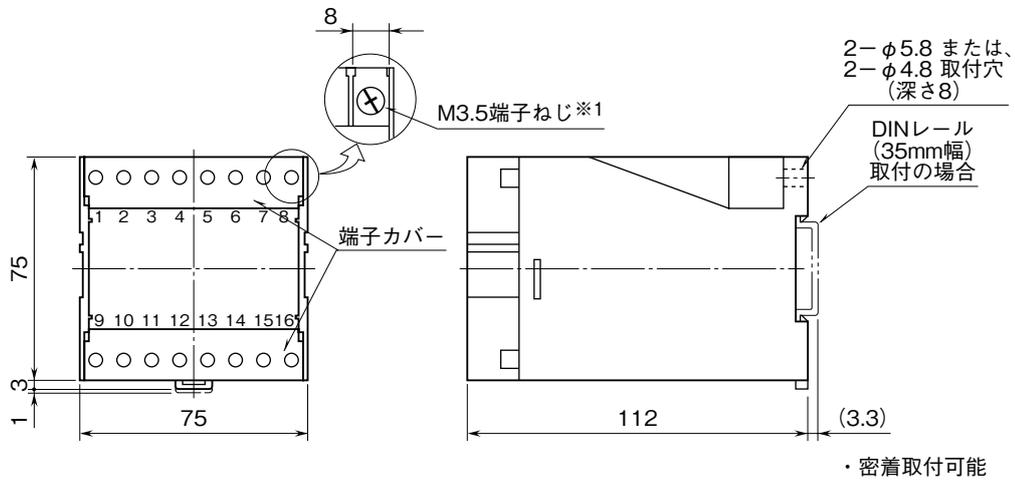




## 接 続

各端子の接続は端子接続図もしくは本体上面の結線表示を参考にして行って下さい。

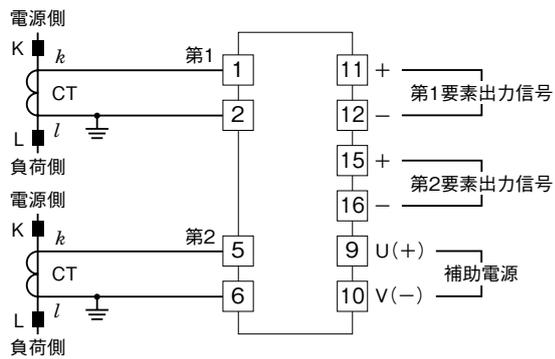
### 外形寸法図 (単位: mm)



※1、端子ねじの配置は、端子接続図を参照して下さい。

・密着取付可能

### 端子接続図



---

## 配線

### ■端子ねじ

締付けトルク：0.8 N・m

---

## 点検

- ①端子接続図に従って結線がされていますか。
- ②補助電源の電圧は正常ですか。  
端子番号⑨-⑩間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。
- ③入力信号は正常ですか。  
入力値が0～120%の範囲内であれば正常です。  
入力端子からケーブルを外す場合は、一次CTが焼損しないように、CTの二次側を短絡するか、一次側の電流を切ってから行って下さい。  
また、L2CAは入力信号の波形が正弦波でない場合は正確な出力ができませんのでご注意下さい。
- ④出力信号は正常ですか。  
負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

---

## 調整

本器は出荷時校正済みですので、ご注文時の仕様通りにご使用になる限りは、調整の必要はありません。ただし接続機器との整合をとる場合や定期校正時には、下記の要領で調整して下さい。

### ■調整方法

校正の場合は本器の許容差に対し、十分精度を有する信号源および測定器を使用し、電源投入後10分以上経過してから行って下さい。

- ①模擬入力信号を0%相当値に設定し、ZEROで出力を0%に合わせます。
- ②模擬入力信号を100%相当値に設定し、SPANで出力を100%に合わせます。
- ③再び、模擬入力信号を0%相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。
- ④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰り返して下さい。
- ⑤第2要素出力についても、同様に校正して下さい。

---

## 保守

定期校正時は下記の要領で行って下さい。

### ■校正

10分以上通電した後、入力信号を0、25、50、75、100%順で本器に与えます。このとき出力信号がそれぞれ0、25、50、75、100%であり、規定の許容差範囲内であることを確認して下さい。出力信号が許容差範囲から外れている場合は、調整の項目で指示した内容に従って調整して下さい。

---

## 雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意致しております。併せてご利用下さい。

---

## 保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。